

令和2年5月発行

# 稲沢市のごみの概要

令和元年度実績



## いなざわ

**① Reduce (リデュース：発生抑制)**

\*物を大切に使い、ごみを減らす

**② Reuse (リユース：再使用)**

\*使える物は、繰り返し使う

**③ Recycle (リサイクル：再生利用)**

\*ごみを資源として再び利用する

編集・発行

稲沢市 経済環境部 資源対策課・環境施設課

稲沢市中野川端町74番地 稲沢市環境センター内

電話 0587-36-0135

# 1. ごみ処理量総括表

単位：t

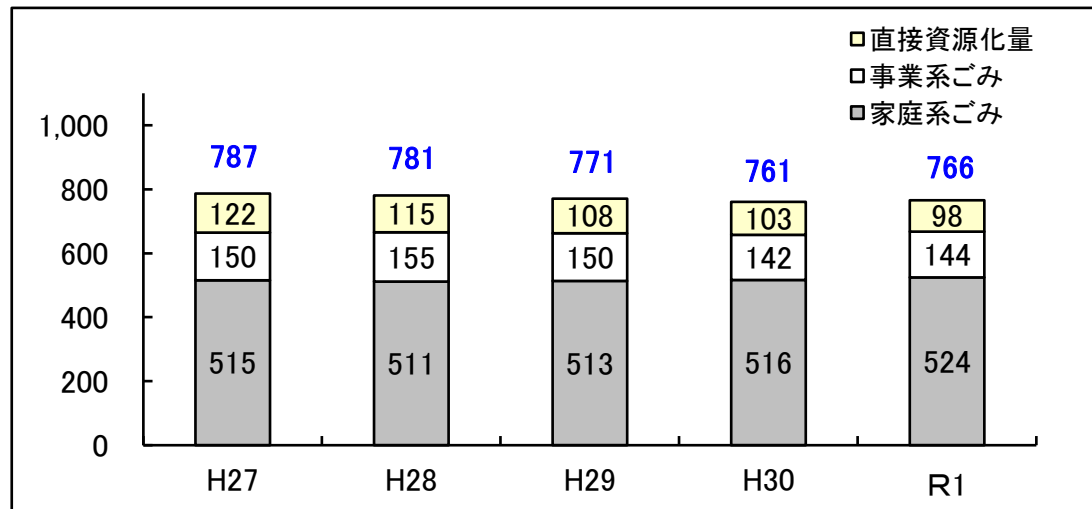
区 分		29年度	前年比	30年度	前年比	元年度	前年比		
総人口	10/1 [人] (A)	137,592	99.8	137,052	99.6	136,887	99.9		
処 理 量	環境センター処理ごみ 家庭系	可燃ごみ (B)	22,946	99.6	22,809	99.4	23,290	102.1	
		不燃ごみ※ (C)	2,721	105.0	2,925	107.5	2,788	95.3	
		粗大ごみ (D)	90	102.3	90	100.0	106	117.8	
		計 (E)	25,757	100.1	25,824	100.3	26,184	101.4	
	事業系	可燃ごみ (F)	7,452	97.2	6,968	93.5	7,082	101.6	
		不燃ごみ (G)	94	81.0	155	164.9	110	71.0	
		計 (H)	7,546	97.0	7,123	94.4	7,192	101.0	
	計 (I)		33,303	99.4	32,947	98.9	33,376	101.3	
	資 源 化	集団回収 (J)		1,381	88.4	1,305	94.5	1,188	91.0
		直接資源化	分別収集 (K)	3,575	92.0	3,363	94.1	3,145	93.5
			地域ステーション (L)	126	90.6	113	89.7	104	92.0
			プラスチック製容器包装 (M)	1,662	97.8	1,609	96.8	1,588	98.7
			拠点回収 (N)	57	116.3	57	100.0	65	114.0
		計 (O)		5,420	93.9	5,142	94.9	4,902	95.3
		施設処理資源化	小型家電資源化 (P)	31	119.2	48	154.8	88	183.3
破碎処理施設回収 (Q)			533	100.9	589	110.5	80	13.6	
灰資源化 (R)			493	102.7	781	158.4	786	100.6	
計 (S)			1,057	102.2	1,418	134.2	954	67.3	
計 (T)		7,858	93.9	7,865	100.1	7,044	89.6		
処 理 量 計 (U)		41,161	98.3	40,812	99.2	40,420	99.0		
最 終 処 分 量 (V)		4,059	95.0	3,863	95.2	3,442	89.1		
リサイクル率 (T ÷ (I+J+O) [%] (W)		19.6	95.6	20.0	102.0	17.8	89.0		
a 家庭系1人1日当たりのごみ量 (E) [g]		513	100.4	516	100.6	524	101.6		
b 事業系1人1日当たりのごみ量 (H) [g]		150	96.8	142	94.7	144	101.4		
c 小計1人1日当たりのごみ量 (a+b) [g]		663	99.5	658	99.2	668	101.5		
d 1人1日当たりの直接資源化量 (O) [g]		108	93.9	103	95.4	98	95.1		
合 計 (c+d) [g]		771	98.7	761	98.7	766	100.7		
1人1日当たりの処理量(含むJ, O) [g]		799	98.5	788	98.6	790	100.3		

※ 不燃ごみは、一宮市及び海部地区環境事務組合への搬入分を含む。

## ●1人1日当たりのごみ排出量

・家庭系ごみ1人1日当たりのごみ量	524g	
・事業系ごみ1人1日当たりのごみ量	144g	計 766g
・1人1日当たりの直接資源化量	98g	

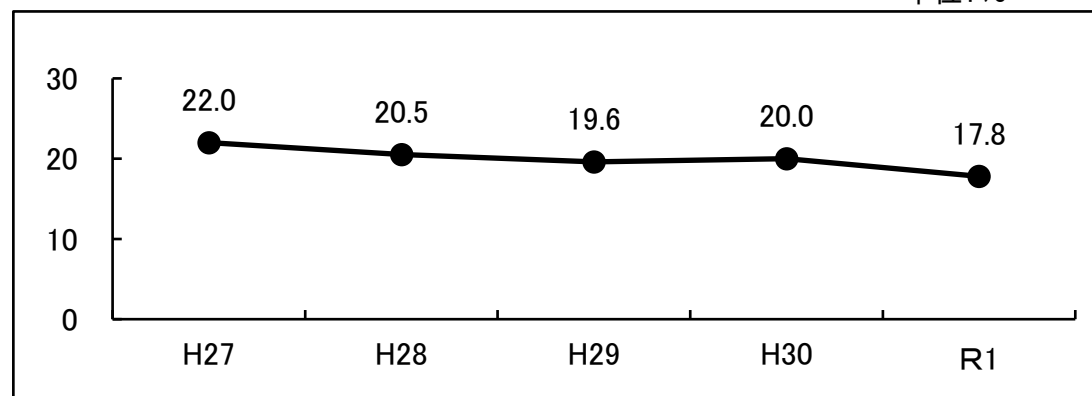
(分別収集、地域ステーション、プラスチック製容器包装、拠点回収) 単位:g



- ・令和元年度の1人1日当たりのごみ量は増加し、直接資源化量は減少した。
- ・令和元年度の1人1日当たりのごみ排出量の割合は、家庭系ごみが68.4%、事業系ごみが18.8%、直接資源化量は12.8%となった。
- ・1人1日当たりの家庭系ごみ量は、前年度から8g増加して524gとなった。直近5年間の排出量としては最大値である。

## ●リサイクル率

・リサイクル率 17.8% 単位:%



- ・灰資源化（セメント化）の開始により、平成30年度では若干増加しているものの、令和元年度からは再び減少に転じている。減少の主な要因としては、平成24年度以降、民間資源回収場所が急増したことで、資源回収量の捕捉率が低下を続けていることが考えられる。

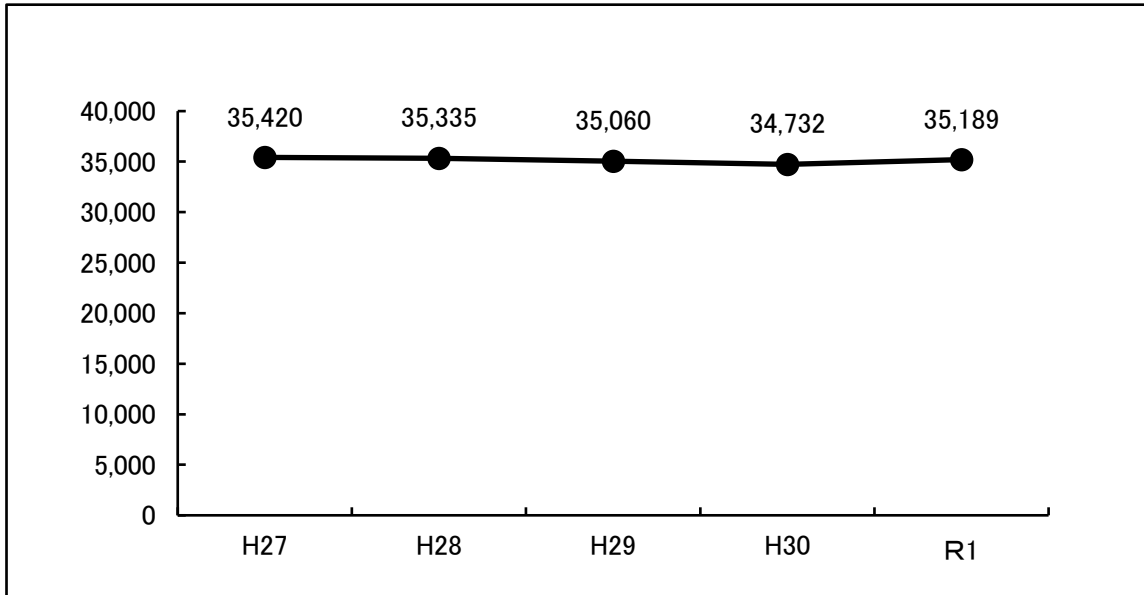
## 2. 環境センター処理量の内訳

単位：t

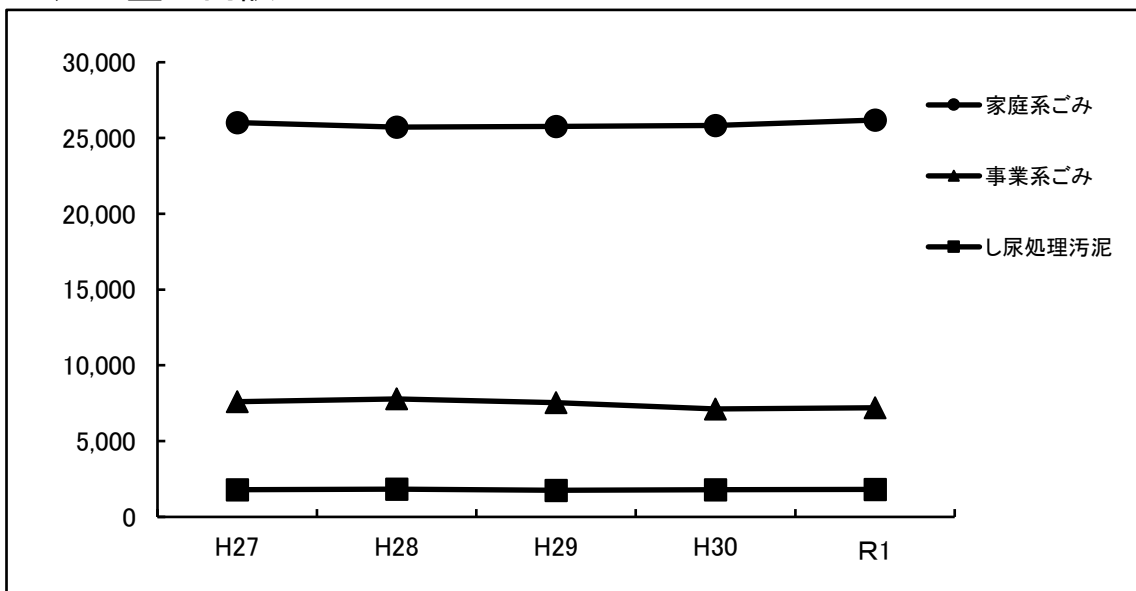
区 分		29年度	前年比	30年度	前年比	元年度	前年比	
家庭系	可燃ごみ	収集ごみ (A)	22,573	99.5	22,449	99.5	22,972	102.3
		個人持込み (B)	373	106.9	360	96.5	318	88.3
		計 (C)	22,946	99.6	22,809	99.4	23,290	102.1
	不燃ごみ	収集ごみ (D)	1,760	102.3	1,883	107.0	1,735	92.1
		個人持込み (E)	961	110.5	1,042	108.4	1,053	101.1
		計 (F)	2,721	105.0	2,925	107.5	2,788	95.3
	粗大ごみ(有料戸別収集) (G)	90	102.3	90	100.0	106	117.8	
	計 (H)	25,757	100.1	25,824	100.3	26,184	101.4	
事業系	可燃ごみ	許可業者搬入 (I)	6,970	100.8	6,515	93.5	6,640	101.9
		事業持込み (J)	482	64.1	453	94.0	442	97.6
		計 (K)	7,452	97.2	6,968	93.5	7,082	101.6
	不燃ごみ	許可業者搬入 (L)	78	86.7	130	166.7	80	61.5
		事業持込み (M)	16	61.5	25	156.3	30	120.0
		計 (N)	94	81.0	155	164.9	110	71.0
計 (O)	7,546	97.0	7,123	94.4	7,192	101.0		
可燃ごみ計 (C+K)	30,398	99.0	29,777	98.0	30,372	102.0		
不燃ごみ計 (F+N)	2,815	104.0	3,080	109.4	2,898	94.1		
粗大ごみ(有料戸別収集) (G)	90	102.3	90	100.0	106	117.8		
環境センター処理ごみ量 計 (H+O) (P)	33,303	99.4	32,947	98.9	33,376	101.3		
し尿処理汚泥 (Q)	1,757	95.9	1,785	101.6	1,813	101.6		
環境センター処理量 合計 (P+Q) (R)	35,060	99.2	34,732	99.1	35,189	101.3		

- ・令和元年度の環境センター処理量のうち、4分の3が家庭ごみである。これは環境センターで処理されるごみのうち、最も多くの割合を占めている。
- ・令和元年度の家庭系ごみ量は前年度比で101.4%となった。人口が減少しているにもかかわらず、ごみ量が若干増加している。
- ・事業系ごみ量のうち、不燃ごみ量が前年度比で71.0%と大きく減少している。これは平成30年度に突出した増加があったためであると考えられる。
- ・し尿処理汚泥は、平和浄化センターから発生するし尿、浄化槽汚泥処理物を環境センターで焼却処理するものだが、平成30年度に比べ若干増加している。

●環境センター処理量の推移



●処理量の内訳



単位:t

区 分	H27	H28	H29	H30	R1
家庭系ごみ	26,028	25,720	25,757	25,824	26,184
事業系ごみ	7,603	7,783	7,546	7,123	7,192
し尿処理汚泥	1,789	1,832	1,757	1,785	1,813
処理量合計	35,420	35,335	35,060	34,732	35,189

### 3. 資源化の内訳

単位：t

区 分		29年度	前年比	30年度	前年比	元年度	前年比
集団回収	紙 類	1,299	88.1	1,228	94.5	1,116	90.9
	布 類	63	92.6	58	92.1	55	94.8
	金属類	18	94.7	18	100.0	16	88.9
	ガラスびん類	1	100.0	1	100.0	1	100.0
計 (A)		1,381	88.4	1,305	94.5	1,188	91.0

分別収集	紙 類	2,511	90.9	2,326	92.6	2,146	92.3
	布 類	195	94.2	187	95.9	176	94.1
	金属類	184	94.4	180	97.8	179	99.4
	ガラスびん類	517	94.3	498	96.3	477	95.8
	ペットボトル	168	96.0	172	102.4	167	97.1
計 (B)		3,575	92.0	3,363	94.1	3,145	93.5

地域ステーション	紙 類	83	89.2	72	86.7	63	87.5
	布 類	10	83.3	9	90.0	9	100.0
	金属類	6	85.7	6	100.0	7	116.7
	ガラスびん類	22	100.0	21	95.5	20	95.2
	ペットボトル	4	100.0	4	100.0	4	100.0
	使用済み天ぷら油	1	100.0	1	100.0	1	100.0
計 (C)		126	90.6	113	89.7	104	92.0

プラスチック製容器包装 (D)		1,662	97.8	1,609	96.8	1,588	98.7
-----------------	--	-------	------	-------	------	-------	------

拠点回収	使用済み乾電池、水銀製品	34	100.0	36	105.9	38	105.6
	使用済み天ぷら油	4	100.0	5	125.0	5	100.0
	使用済み小型家電 ※1	2	100.0	3	150.0	4	133.3
	リサイクル資源	17	188.9	13	76.5	18	138.5
計 (E)		57	116.3	57	100.0	65	114.0

直接資源化量 B+C+D+E (F)		5,420	93.9	5,142	94.9	4,902	95.3
--------------------	--	-------	------	-------	------	-------	------

施設処理資源化	小型家電資源化 ※2	31	119.2	48	154.8	88	183.3
	破砕処理施設回収 (アルミ類)	24	100.0	28	116.7	4	14.3
	破砕処理施設回収 (鉄類)	509	101.0	561	110.2	76	13.5
	灰資源化 (セメント化) ※3	-	-	390	-	392	100.5
	灰資源化 (灰焙焼)	493	102.7	391	79.3	394	100.8
施設処理に伴う資源化量 (G)		1,057	102.2	1,418	134.2	954	67.3

合 計 A+F+G (H)		7,858	93.9	7,865	100.1	7,044	89.6
---------------	--	-------	------	-------	-------	-------	------

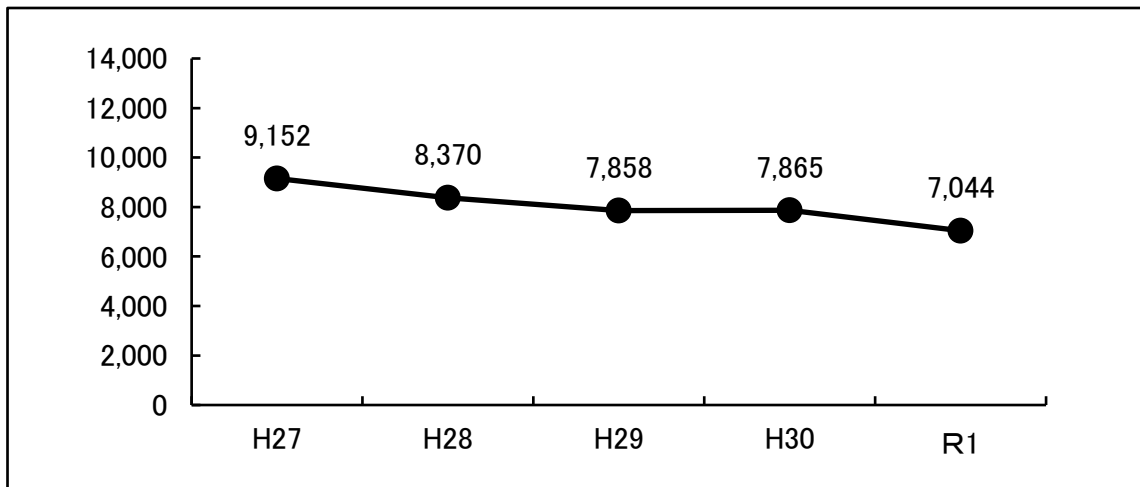
※1 拠点回収における使用済み小型家電は、環境センター引渡し量のうちボックス回収分と宅配回収分の合計量。

※2 施設処理資源化における小型家電資源化は、環境センター搬入物を選別・解体した小型家電の引渡し量。

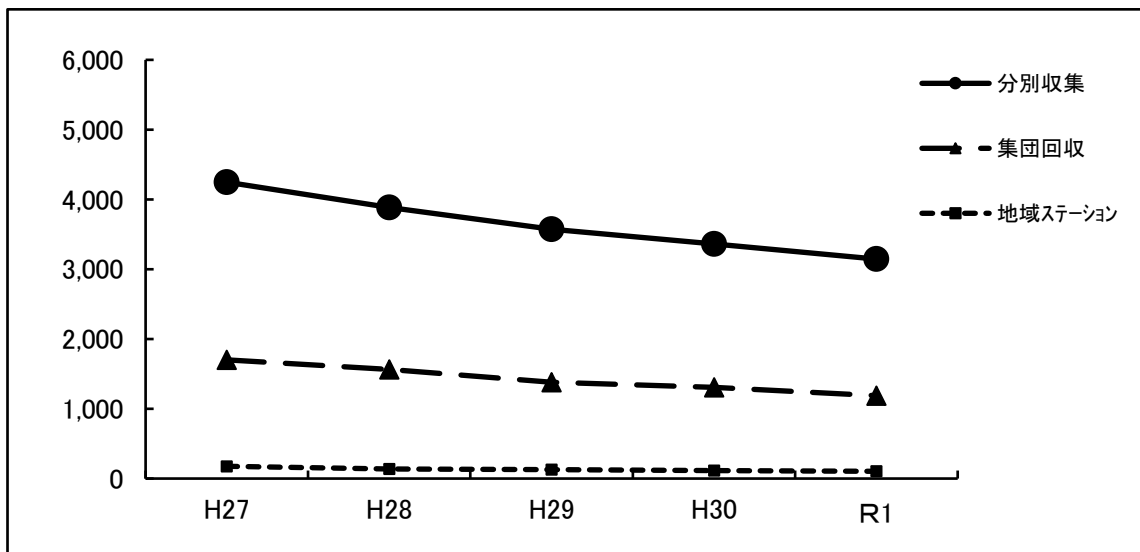
※3 灰資源化(セメント化)は平成30年7月より開始。

●資源化量の推移

単位:t



●資源化量のうち集団回収、分別収集、地域ステーションの内訳 単位:t



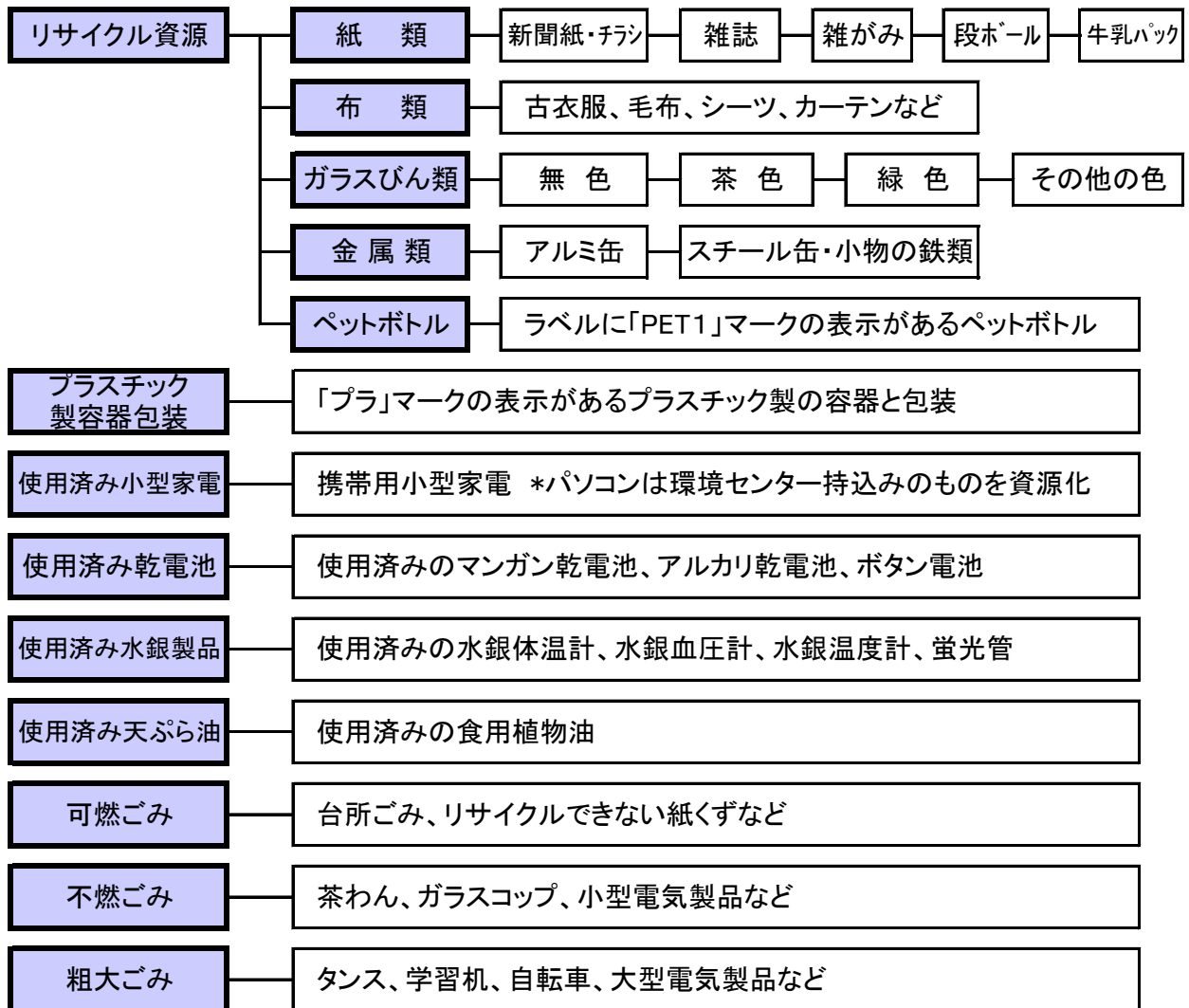
単位:t

区分	H27	H28	H29	H30	R1
集団回収	1,701	1,562	1,381	1,305	1,188
分別収集	4,247	3,886	3,575	3,363	3,145
地域ステーション	176	139	126	113	104
合計	6,124	5,587	5,082	4,781	4,437

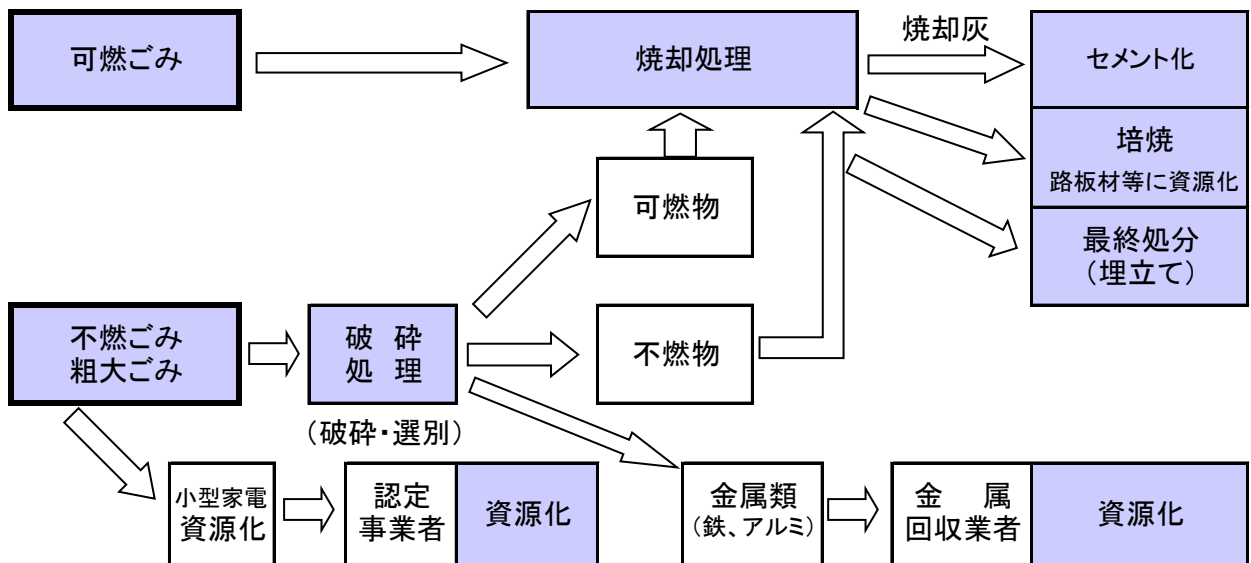
- ・例年、資源化量の4割以上を占める分別収集の減少を受け、回収量が減少傾向を続けている。
- ・資源化量について、平成30年度は灰資源化（セメント化）の開始によって若干増加したものの、令和元年度は環境センターの火災の影響もあり、再び減少に転じている。
- ・民間資源回収所の影響を大きく受ける地域ステーション回収量は、平成27年度に比べると40.9%減少しており、分別収集の回収量も、25.9%の減少となっている。

## 4. 分別区分と処理の流れ

### ●資源とごみの分別区分

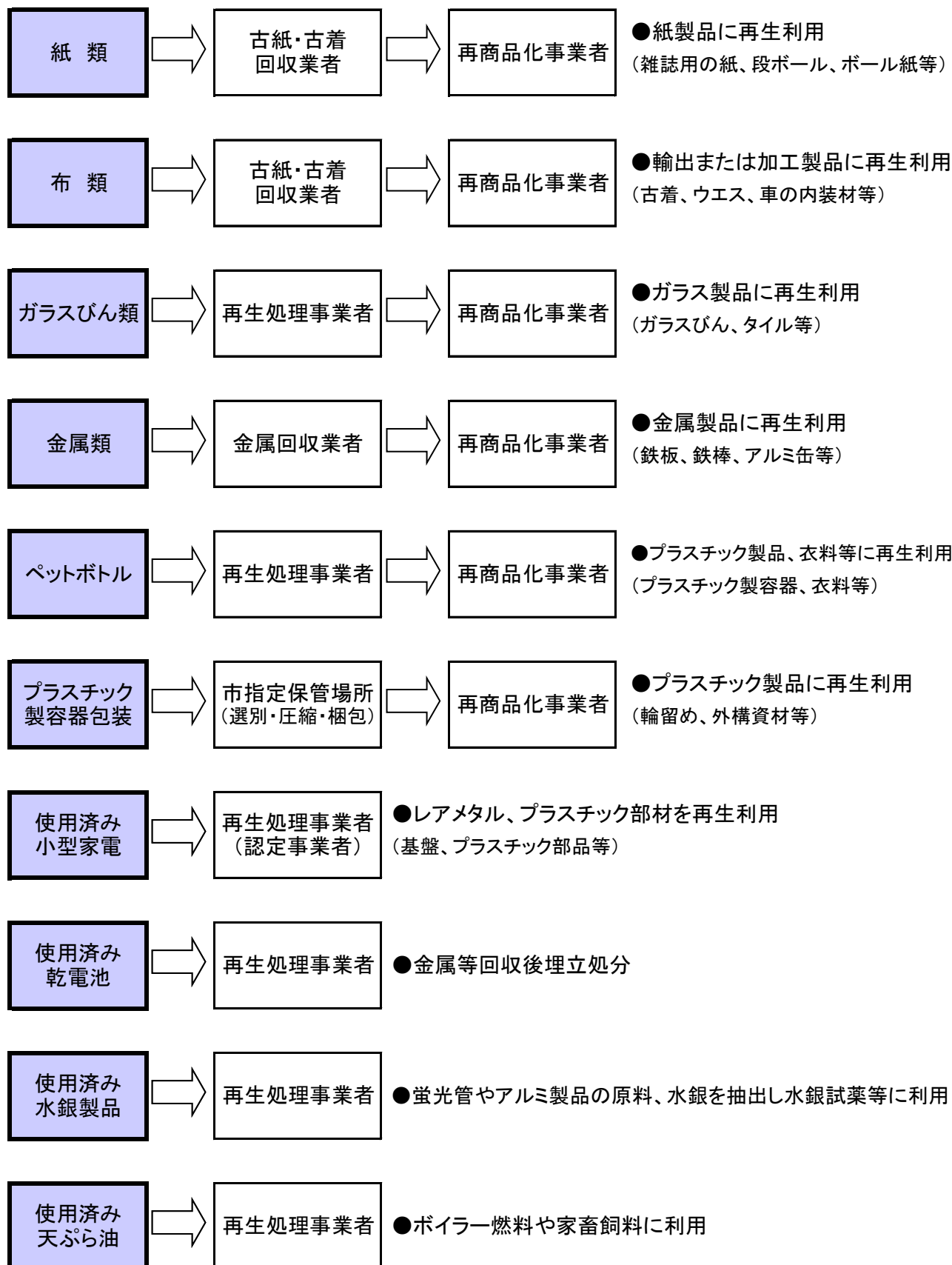


### ●環境センターでのごみ処理の流れ





## ●リサイクル資源等の処理の流れ



## 5. 県下各市のごみ処理量 平成30年度実績

単位：t

市町村名	総排出量						家庭系ごみの1人1日当たりの量 (g/人・日)	リサイクル率 (%)
	総計	左記のごみの1人1日当たりの量 (g/人・日)	家庭系ごみ量	事業系ごみ量	直接資源化 (プラ容器包装も含む)	集団回収量		
名古屋市	784,428	938	408,047	251,530	54,298	70,553	488	24.6
豊橋市	132,540	963	58,143	42,514	24,899	6,984	422	26.3
岡崎市	135,269	956	80,463	40,570	7,783	6,453	569	19.5
一宮市	120,503	856	78,238	26,184	14,965	1,116	556	15.6
瀬戸市	39,677	838	27,806	6,613	3,914	1,344	588	14.6
半田市	43,174	988	25,224	8,968	6,101	2,881	577	20.8
春日井市	93,866	825	59,527	20,474	11,665	2,200	523	18.3
豊川市	68,822	1,012	41,410	17,610	8,170	1,632	609	26.7
津島市	16,995	742	11,476	4,208	1,311	-	501	14.9
碧南市	27,383	1,026	14,540	9,611	2,766	466	545	17.4
刈谷市	55,687	1,006	31,719	17,435	3,603	2,930	573	18.6
豊田市	150,152	966	83,841	48,522	13,351	4,438	539	19.7
安城市	63,165	915	34,802	17,649	7,851	2,863	504	19.7
西尾市	66,041	1,052	41,218	17,963	4,336	2,524	657	15.3
蒲郡市	34,482	1,174	16,865	12,234	3,599	1,784	574	18.3
犬山市	22,357	825	12,587	5,992	2,597	1,181	464	20.7
常滑市	25,525	1,186	10,234	11,494	3,141	656	475	22.6
江南市	26,823	730	15,769	4,845	4,686	1,523	429	25.4
小牧市	48,916	877	25,095	13,887	7,574	2,360	450	36.6
稲沢市	39,394	788	25,824	7,123	5,142	1,305	516	20.0
新城市	16,359	957	9,478	4,326	2,544	11	555	18.4
東海市	36,212	863	21,684	9,398	2,296	2,834	517	21.3
大府市	28,556	848	17,523	6,648	4,385	-	521	25.7
知多市	23,266	748	16,526	4,051	2,256	433	531	13.2
知立市	22,973	870	14,093	5,860	1,646	1,374	534	15.4
尾張旭市	24,808	815	14,385	5,133	2,657	2,633	473	22.7
高浜市	16,024	905	9,764	4,696	1,479	85	552	14.1
岩倉市	12,089	690	7,863	1,912	1,677	637	449	28.5
豊明市	19,425	775	12,603	3,254	3,086	482	503	22.4
日進市	28,007	849	15,702	5,889	3,401	3,015	476	25.3
田原市	25,170	1,101	11,928	7,829	5,413	-	522	33.5
愛西市	16,937	733	13,028	2,418	960	531	564	17.0
清須市	17,799	708	12,944	2,402	1,686	767	515	14.5
北名古屋市	25,224	804	16,918	5,226	2,039	1,041	539	15.2
弥富市	12,856	793	9,283	2,426	501	646	573	16.1
みよし市	20,103	899	11,483	5,920	2,380	320	514	19.3
あま市	22,855	705	19,054	2,603	1,198	-	588	10.9
長久手市	18,691	881	9,890	5,578	2,304	919	466	18.4

(注)：他市の数値は、愛知県廃棄物処理事業実態調査(令和2年3月発行)を参考としたもの。